

第 28 回香川大学医学部祭

代表者 阪 本 浩 助 (医学部医学科 4 年)

1. 目的と概要

第28回香川大学医学部祭は香川大学医学部学生の日頃の学習や研究、サークル活動や自主的な課外活動の成果を発表することと、を目的として平成19年10月13日と14日に行われた。

28の団体やサークルが参加し、それぞれのサークルや団体が日頃の成果を十分に発揮する場となった。

特に力を入れた医学展には500人を超える来場者があり、今年初めての企画である臓器移植に関する講演会にも100人を超える参加者があった。

また、お笑いライブには計4組のお笑い芸人を呼び、600人を超える人が来場した。

地域の方とも大いに交流は深められ、学生同士も大いに交流できた。



2. 実施スケジュール

平成 19 年 10 月 13 日～14 日

3. 成果の内容及びその分析・評価等

第28回香川大学医学部祭は天候にも恵まれ、大きな事故等もなく無事に終了した。

今年は例年以上に事前の広報に力をいれ、いくつかの企画を新たに行った。これらにより、多くの来場者に来ていただき、医学部祭は大盛況に終わった。

近年話題になっている臓器移植について、「本当の脳死」の著者である千葉太玄氏を招いての講演会の企画を実現することができた。これは100人以上が聴講し臓器移植の普及、啓発の場としてとてもいいものになった。

学生の学習・研究発表の場のメインである医学展・看護展では、昨年度より会場を増やし内容も充実させることができた。毎年行っている骨密度の検査や血糖値検査のほかにも今年から新たに看護展において赤ちゃんの人形を用いて乳幼児の心肺の音を聞けたり、寄生虫の観察を行ったりして医学、看護に対する興味を持ってもらうことができた。別のブース



では学生ICLS勉強会によるBLSの講習やAEDに関する展示も人気があった。

お笑いライブは、吉本興業からいま旬の芸人であるたむらけんじ、メッセンジャー、ジャルジャル、ボールボーイの4組を招いて行った。観客は600人を超え体育館がいっぱいになった。

各サークルにおいても日頃の課外活動の成果を十分に発揮しその活動を発表することができ今後さらに活発な課外活動が促されるものとなった。

また様々な企画を通して、学生間や学生と学部関係者、地域の方々との交流を深めることができた。特に良かったのは地域の方々との医学展、看護展を通じて意見の交換ができた。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

医学部祭のメインの一つでもある医学展・看護展ではメタボリックシンドロームやうつ病、生活習慣病などに関する展示発表のほか、赤ちゃんの心音を聞いたり、寄生虫標本を実際に観察したりでき、来場された方々に興味を持ってもらうことができた。そして血糖測定や骨密度測定などを通じて地域の方々との学生の間で意見の交換もあり、医学部と地域の方々とのいい交流の場になった。

学生主動のICLS勉強会は医学展の一環としてAEDやBLSに関する展示の他に、BLS講習会も行い学生の研究発表の場としてだけではなく、一般の方々にAEDやBLSに対する関心を持ってもらうよい機会になった。

これらの来場者参加型の体験場、展示会は多くの来場者にも好評で、地域住民の方々との交流を図り医学部についてより知ってもらう機会となった。他にも各サークルによる模擬店などを通じて学生との交流もできた。

また来場した教員など大学関係者とも交流が深まった。



5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

私達学生は毎日医学部のキャンパスに通う中で、時には仲間と笑い合い、時には必死になって汗を流し、また時には失敗や挫折のために涙することもある。そんな学生達を作る毎日の物語がこのキャンパスには詰まっているという思いをこめて、今年の医学部祭のテーマは「医学部物語～笑いときどき涙」に決めた。このテーマ通り医学部祭を通して仲間と協力しあい、また新たな仲間を発見しより交流を広めることができた。

この医学部祭は学生の日頃の学習・研究の成果を発表する場であると同時に、課外活動の発表の場でもあった。今年の医学部祭には28のサークルや団体が参加し、各サークルとも店長を中心としてよくまとまった。ダンス部や軽音楽部、茶道部、ひばり、管弦楽団、文学部などは日頃の課外活動の成果を十分に発揮しその活動を発表することができた。これらのサークル以外もお互いに協力し合いよくまとまることができ学生同士の仲も深まった。これは今後の学生生活においても、学生が主体的に動くことができるきっかけになったと思う。



6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

反省点としては、セキュリティに関することが挙げられる。今年も大きな事はなかったがいくつかの場面で来場者により学生が不快な思いをする場面があった。具体的にはミスコンやダンスサークルによるダンスの最中に来場者による執拗なカメラの撮影があった。その場で注意したが、今後もそのようなことに注意する必要があるように思えた。

今後は、今年副実行委員だった学生が来年の実行委員長をするので、その学生を中心に今年の反省を生かしてよりよい医学部祭を作り上げていきたい。

7. 実施メンバー

代表者	阪本 浩助	(医学部4年)		
構成員	宮藤 智史	(医学部3年)	池下 友香理	(医学部3年)
	山崎 真理	(医学部4年)	石垣 里紗	(医学部4年)
	西井 和也	(医学部4年)	石田 有美	(医学部4年)
	平林 紗江	(医学部4年)	中野 安耶子	(医学部4年)
	吉田 雄介	(医学部4年)	寒川 泰	(医学部4年)
	岡島 嵩	(医学部4年)	山下 伸之輔	(医学部4年)
	土肥 洋一郎	(医学部4年)	長尾 祐子	(医学部4年)
	阿多 由梨加	(医学部4年)	内藤 宏仁	(医学部4年)
	黒川 智子	(医学部4年)	香川 直美	(医学部4年)
	前田 千尋	(医学部4年)	川久保 充裕	(医学部4年)
	石橋 めぐみ	(医学部4年)	前田 翔	(医学部4年)
	永田 裕美	(医学部4年)	山中 志穂	(医学部4年)
	猪熊 奈保子	(医学部4年)	飯高 世子	(医学部4年)
	近藤 彰宏	(医学部4年)	菅野 健児	(医学部4年)
	渡邊 洋美	(医学部4年)	中田 圭紀	(医学部4年)
	天雲 千晶	(医学部4年)	中村 英祐	(医学部4年)
	喜田 裕介	(医学部4年)	福本 晶	(医学部4年)
	川野 紗矢香	(医学部3年)	今井 宏美	(医学部3年)
	石田 早都子	(医学部3年)	守谷 沙矢加	(医学部3年)
	合戸 友美	(医学部3年)	船場 美穂	(医学部3年)